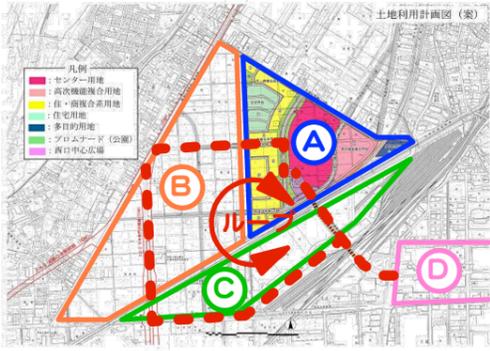


ビナループ ～緑の都市軸と東西のエリアをつなぐにぎわいのループ～

～ 西口再開発の段階的發展に向けて ～
 西口は広大な再開発エリアがあり、西口駅前を中心に土地利用計画図（下記海老名市公表）が現在策定されています。ただ可能性のある再開発エリアは西側に残されており、今回の再開発と今後発展が想定されるエリアとを結びつけることが必要と考えられます。また、東口のピナウォークエリアとの関係性も重要です。再開発エリアの発展だけでなく、再開発を通じてまち全体が将来に向けて段階的に発展していけるよう提案いたします。

全周2.5kmのコンパクトな「にぎわいループ」の整備



- (A) 西口駅前再開発エリア**
商業および住環境施設からなる新しい複合機能を有するエリア
- (B) 商・住生活エリア**
商業施設、住施設が混在する生活エリア
- (C) 駅ビル、文化公共施設エリア**
既存の公共施設が立ち並ぶ、駅ビルの開発エリア
- (D) ピナウォークエリア**
デパート、シネコンからなるピナウォークエリア

再開発エリアと既存のエリアは大きく4つに分類することができます。A～Dのエリアは開発時期が異なることから今後まちづくりが進められる中でエリア毎の性格が強くなっていくことが考えられます。それぞれのエリアが別々のものではなく海老名の街を一体とする為に、再開発の進む前にマスタープランとして想定しておくことが重要です。ループは全周2.5kmで徒歩約30分でまわれるコンパクトなものです。

ストリートファニチャーでにぎわいの創出

ビナループは歩道の幅に余裕をもたせてゆったりとすごせる遊歩道として計画します。また街路樹や花壇を設けて積極的に緑化し、ストリートファニチャー等のベンチやアートオブジェクトを用いて活気のあるストリートです。ビナループの内側は中央公園を設置し運動やお祭り等の行事に利用します。



ストリートファニチャーのイメージ

「緑の都市軸」で海老名市の自然資産を積極的に活用

海老名市は西に相模川とその河川敷に沿って三川公園があります。豊富な緑と川のせせらぎはたくさんの利用者を癒しています。現在は車のアクセスが主で、駅から徒歩の経路は整備されておられません。今後、再開発が進む中で大きな自然資産である三川公園の利用者を増やし、環境にやさしいまちづくりをアピールすることが重要です。

西口駅前から北に向けて緑の都市軸が計画されています。新たに西側から三川公園に向けて緑の都市軸を設けて、プロムナードを計画し、徒歩による動線を確保します。また、駅前から北と西にのびる緑の都市軸はビナループの中心部の動線を結びつけ、一体として機能します。



多摩センターのプロムナード

